

警察署協議会議事概要

協議会名	神奈川県津久井警察署協議会
日時	令和5年5月10日（水）午後1時55分から午後4時15分までの間
場所	神奈川県津久井警察署
出席者	<p>1 警察署協議会側 長谷川 允、佐藤 由美子、中戸川 玲子、小室 美代子、畑 秀雄、山下 いずみ 今 正巳 計7人</p> <p>2 警察署側 署長 佐藤 宏文、警務課長 田中 一成、刑事課長 天野 秀樹、 生活安全課長 安武 誠一郎、地域課長 橋本 智雄、交通課長 塚本 義春、 警備課長 福田 徳昭、会計課長 木村 貴之 計8人</p>
議事要旨	<p style="text-align: center;">警察署協議会からの答申等に対する措置結果の説明</p> <p>「地域警察官の装備品について」</p> <p>1 答申</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 耐刃防護衣は重いと感じたので、動きやすいように、あらゆる機会を通じて軽量化ができるように検討してほしい。 ・ 日常的な訓練や装備品の点検をしてもらい、何時でも活用できるようにしてほしい。 ・ パトカー等で現場に行った時にも装備品をしっかりと活用できる訓練をもらい、また誰がどの装備品を活用するか等、役割分担を含めた訓練をして怪我のないようにほしい。 ・ 津久井地域には山も多く、道も狭いのでドローン等の導入を検討してもらい、また消防にドローンがあるならば、連携して消防のドローン活用を積極的に活用してほしい。 <p>2 措置結果</p> <p>(1) 耐刃防護衣の軽量化について 今後、腕や頸部をカバーするため、これら急所を護る形状の開発は予想されるが、軽量化は至難であり、関係所属に対して耐久性を兼ね備えた退刃防護衣の軽量化への意見具申を継続する意向である。</p> <p>(2) 装備品の訓練及び点検について 地域課員が勤務交代する際や、幹部による巡視時においてそれぞれの装備品を確認し、紛失していないか、正常に作動するか等の点検を実施している。</p> <p>(3) 装備品の活用について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 定期的実施している術科訓練において、武道訓練の他、相手を制圧する逮捕術訓練や装備品の使用訓練を実施した。 ・ 事件の想定に基づき、各々必要な装備品を自己判断で選択使用し、対応する訓練を実施した。 ・ 交番襲撃を想定した訓練を実施した。 <p>(4) ドローンの導入について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 相模湖桂橋付近における行方不明者捜索の際、関係機関に依頼し、ドローンを使用した

	<p>状況について説明した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 神奈川県下の警察署におけるドローンの配備は現在ない。関係所属において各所属に対する優先順位、操縦者の選定等は未定である旨を説明した。
	<p>諮問</p>
	<p>津久井警察署山岳救助隊の活動について</p>
	<p>答申</p>
	<ul style="list-style-type: none"> 今後も全国的な訓練に、積極的に参加してもらいたい。 ベテランから若手への技術伝承を続けて欲しい。 様々な媒体を通じた情報発信。特に署ホームページや「ヤママップ」等のアプリの導入促進を進めてほしい。 署山岳救助隊の装備を万全とし、怪我のないようにしてほしい。
	<p>業務説明</p>
	<p>令和5年1月から3月までの業務報告、及び令和5年4月から6月までの業務計画について説明を行った。</p>
備 考	<p>視察</p>
	<p>山岳救助隊の各種装備品、及び署庁舎屋上からの山岳降下訓練について視察を行った。</p>
	<p>視察後の警察署協議会からの意見</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 山岳救助活動のため、各種の装備品が使用されていることを理解した。 ○ 装備品を適切に使用し、救助活動のために定期的に実際的な訓練を実施していることを理解した。